

## 会 議 の 概 要

会議名	令和4年度 宝塚市食育推進会議 第3回会議
開催日時	令和4年(2022年)11月1日(火)午後2時～午後3時30分
開催場所	宝塚市立中央公民館 203・204 学習室
出席委員	14名 (会場参加) 佐々木委員、藤永委員、松岡委員、細川委員、岡橋委員、 田中委員、日野尾委員、酒井委員、石井委員、伊丹委員、 林委員、今下委員、朝野委員 13名  (Web参加) 安藤委員 1名
欠席委員	3名 八幡委員、前田委員、中西委員
傍聴者	なし
公開の可否	公開
<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p style="padding-left: 2em;">(1) 第3次たからづか食育推進計画(案)について</p> <p style="padding-left: 4em;">ア 第1章～第4章の第2回会議後の修正について</p> <p style="padding-left: 4em;">イ 第5章、参考資料、用語説明について</p> <p style="padding-left: 2em;">(2) 第3次たからづか食育推進計画 概要版(案)について</p> <p>3 連絡事項</p> <p style="padding-left: 2em;">今後の予定</p> <p style="padding-left: 4em;">第4回会議 令和5年2月9日(木)</p> <p style="padding-left: 4em;">場所：中央公民館 1階 ホール</p> <p style="padding-left: 4em;">内容：第3次たからづか食育推進計画(案)・概要版(案)について、パブリック・コメントでいただいた意見と、市の考え方についての報告</p> <p>4 閉会</p>	

(1) 第3次たからづか食育推進計画（案）について

ア 第1章～第4章の第2回会議後の修正について

(会 長) 第3次たからづか食育推進計画（案）第1章～第4章について、第2回会議での意見を受け、修正した点について、事務局より説明があります。

(事務局) 説明

<質疑応答>

(会 長) 第1章の修正は、ないとのこと。第2章は、グラフの表記を統一、健康寿命についてデータを更新、燃やすごみの組成分析に関する内容を削除。第3章は、新たに5つの重点項目を設定。第4章は、主な関連事業の表現を主な取組に変更、丸山湿原についての説明は加えない等の説明がありました。質問等がありますか。

(委 員) 9ページの(2)健康の状況 子どものやせの状況の説明だけ、第2次計画と比較しているのはなぜでしょうか。また「第2次計画と比べると、やせの出現率は大きく減少しています。」とありますが、第2次計画では、幼児・学童における身体状況調査結果を使用し、今回は校種別疾病・体位統計の結果を使用しています。第2次計画策定時のやせの状況と数値の差が大きいの、データとして大丈夫なのかと思いました。

(事務局) 第2次計画で使用した調査が行われなくなったため、別の調査結果を使用しました。教育委員会にデータの確認を行い、比較ができるようであれば、このままの表現とし、調査方法が異なるようであれば単純比較はできないため、第2次計画と比較した内容は削除します。

イ 第5章 計画の推進に向けて、参考資料、用語説明について

(事務局) 説明

(会 長) 第5章では、3つ目に「新しい生活様式での食育推進」の項目が新たに設けられました。参考資料の宝塚市食育推進会議委員名簿には、皆様の氏名と団体名が掲載されています。確認いただき間違いがありましたら事務局に連絡してください。用語説明では、第2次計画にあった用語の説明はそのまま残し、第3次計画からは新たに9種類の用語説明を追記するとのことでした。これらの説明に関して意見はありますか。

(委 員) 具体的にまとめられていると思いました。用語説明についてですが、現在書かれているフード・マイレージの説明で意味が伝わるかなと思いました。フード・マイレージには、食品が消費されるまでのエネルギーなどの消費量やCO<sub>2</sub>の排出など、様々な意味合いが込められていると思います。「フード・マイレージは、輸送距離を掛けて算出します」というのは、計算方法であってフード・マイレージの説明で

はないと思います。

主食・主菜・副菜は大事なことです、選択する力を育てるということが大切とあったと思います。主食・主菜・副菜を組み合わせれば食べましょうという呼びかけは、知識や経験のある人には理解できますが、一般の方や子どもには、3つのお皿から選んで食べる方法を具体的に示してもらえればと思います。

一般の方は、計画書よりも概要版を見られることが多いと思いますので、概要版で具体的に書いていただければと思います。

(会長) 私も今の意見に賛成です。少しでも栄養の事を知っている人は理解できますが、知識のない人は、どのように選べば良いのか、わかりにくいと思いますので、概要版でアドバイスができればと思います。

(委員) フード・マイレージの説明は、中途半端な説明になっていると思います。主食・主菜・副菜の説明については、一般の市民に配られる概要版で議論ができたらと思います。

(事務局) 主食・主菜・副菜の内容ですが、実際の概要版はカラーになっており、4ページの主食・主菜・副菜にもそれぞれに色がついています。主食が黄色、主菜が赤色、副菜が緑色になっています。それぞれの色から食品を選んでいくことを説明に加えると分かりやすくなると感じましたので、持ち帰って検討します。

(委員) 概要版の話になってしまいますが、概要版が色付けされているのは良いと思いました。体を作る、力をつける、体の調子を整えると、シンプルでよいので色の説明・意味・働きについても付け足してもらえるとよいと思いました。

イラストでの説明は、非常にイメージしやすいと思いました。副菜のイラストは野菜ばかりですが、海藻やきのこのイラストを入れて欲しいです。主菜には豆腐もよいですが、納豆も入れてもらえればと思います。

概要版の4ページ、汁物の上手な減塩方法の具沢山の例題が豆腐と野菜では、みそ汁のイメージになってしまいます。ミネストローネスープやポトフには肉等も入り、3色1度に摂ることができるので、洋風の汁物もイメージできるように、肉も入れて欲しいです。

汁物は1日1回までの「まで」は必要でしょうか。塩分の摂りすぎを気にされているのですが、ミネラルの入った食品と一緒に摂れば制限はいらないと思います。「1日1回が良いですね」というオススメの雰囲気ではよいのではないのでしょうか。

(委員) 加工品で一括表示の裏面に〇〇産と書かなければならない時は、兵庫県産や宝塚市産など、必ず行政区の市を入れるようになっていると思います。20ページや34ページ、35ページにある、宝塚産農産物という表現は、宝塚市産でなくても良いのかなと思いました。

里山の用語解説について、かつての定義を説明した後、今はこういう定義になっていますという説明にしてもらえると、もっと分かりやすくなると思います。

- (委員) かつての里山の定義は、今掲載されている説明のような表現だと思いますが、現在の一般的な里山はこの表現とは少し違うように思います。里山再生をするにあたっての用語解説があってもいいのかなと思います。
- (事務局) 宝塚産農産物については、担当課に確認したところ、宝塚産農産物に統一して欲しいと言われ、表現しています。  
里山については、第2次計画で作成したままの説明を使っていたので、先ほどのフード・マイレージと合わせ、持ち帰り検討します。
- (委員) 宝塚市で問題になっている重点ポイントとして、高齢化と高齢者の低栄養の話が多く載っているように思います。コロナ禍で一般に言われているのはシングルマザー等の貧困から生まれる低栄養の問題だと思います。宝塚市では、高齢化の問題が多いのであればいいのですが、その陰に隠れた、小さな子どもが栄養を摂るサポートなども、フードロスや社会問題的にからめて意識づけることが必要ではないのかと思います。どうしても高齢化に視点が行き過ぎている気がします。  
現代は貧困問題が大きくなっているので、そのような記述がどこかに入れば良いと思います。朝ごはんが食べられない、いただきますと言えない子ども達の中には、家庭環境の中で苦勞している子ども達がいるというところに焦点をあて、その子ども達が活躍できる場所や生活の場でこのような取組がリンクしてくれば良いなと思いました。大げさでしょうか。
- (会長) ありがとうございます。今の意見について何かありますか。
- (委員) 言われるとおりでと思います。宝塚市の具体的な数字はわかりませんが、市内にも、こども食堂はいくつかあるみたいですし、計画に入れられるものならば、将来のある子どもたちなので入れてもらえたら良いなと思います。
- (会長) 他に何か意見はありますか。
- (委員) 30ページの(3)の学校園の1項目に、「給食の時間における食に関する指導の目標を設定し、学年ごとの目標や指導の重点を定める」とありますが、子どもの話を聞いていると、給食の時間が短く、ゆっくり食べることができないようです。食べる時間に充てる時間があるのかはわかりませんが、学校で食べる時間も大事なことと思います。  
家でしっかりと食べられない子もいます。  
食事時間が短くなると、ご飯を残してしまいます。時間を長くすることで、フードロスの問題が解消する事もあるのかなと思います。
- (会長) 給食時間の確保の問題は、その後に授業があり難しいと思います。意見が無いようですので先に進めさせていただきます。

(2) 第3次たからづか食育推進計画 概要版(案)の説明

(事務局) 説明

<質疑応答>

- (会 長) 2 ページの表に重点項目を加え、元々 7 ページに記載されていた「家庭で食を話題にし、家族で食事をしましょう (共食)」を 3 ページの右上に移動し、7 ページに重点目標となった「食事のあいさつをしましょう」を掲載、4 ページの汁物に上手な減塩方法を記載等の説明がありました。これらに関してご意見はありますか。
- (委 員) 一般的には地産地消と言いますが、1 ページの 4 事業者の取組に「地産地産の意識」とあります。間違いでしょうか。
- (事務局) 間違いです。修正します。
- (委 員) 7 ページの輸送時に発生する CO2 を削減と書いているのですが、2 は下付き (CO<sub>2</sub>) に書きます。
- (事務局) 修正します。
- (委 員) 概要版は分かりやすいなと思い、楽しく見せてもらいました。3 ページの農林漁業体験の「いただいた命や作ってもらった人たちへの感謝の心が芽生え・・・」という説明は、とても心に刺さる文章だなと思いました。いただいた命というところは、生物多様性にもなっていると思いますので、人間主体で書いていますが、「命をいただいています。食べたり食べられたりしています。」というような言葉が入ると、生物多様性の部分も仰々しくならず、視野も広がるのかなと思います。環境全体の問題もありますので、人間だけの視点でというよりは、地球上の生物は、食べたり食べられたりする関係で成り立っているというような事が、少し触れられるといいのかなと思いました。
- (会 長) 今のご意見に関しまして何かありますか。
- (委 員) 今の質問の答えになるか分かりませんが、「いただいた命や作ってもらった・・・」では、漁業が抜けてしまう気がします。育てる、作るだけではなく、採取する人もいます。良い答えがなく発言しているのですが、一次生産者が全部作っているわけでもなく、それを統括したような言葉が 2 個目には入って欲しいです。
- (会 長) 具体的に良い言葉がある方がいらっしゃったらお願いします。
- (委 員) 7 ページの「いただきます」のところに、「私たちが生きていくために命をくれた動植物や自然の恩恵、米・野菜などを作った人や料理してくれた人への感謝など・・・」と、ここで補填されているので、3 ページはこのままでいいと思います。
- (委 員) 9 ページに「農林漁業体験に取り組むことで、食べ物を大切にする意識や食べ物への関心を持つようになることが報告されています。」と書いてあります。同じ事を書いてありますので、3 ページはこのままで良いと思います。
- (委 員) 3、7、9 ページは、どれも現状のままで良いと思います。

- (会 長) ありがとうございます。このままの内容で良いという意見がでましたので、各ページこのままにします。
- (委 員) 3ページの「こんなことも食育です」で、食事に至るまでの時間も、その後の時間も食育だと思います。前回の会議で父親も食育に参加すれば良いのではないかと言われた委員の方がおられました。3ページの右下に「食事の準備などのお手伝い」のところで、子どもがお手伝いをしている感じになっていますが、父親や高齢者が食事の準備しているイラストがあっても良いと思います。
- (会 長) 3ページの「食育に関心を持ちましょう」の下に、食育は、子どもから大人まですべての方に必要なことです。とありますので、前にもご意見ありましたように父親のイラストがあってもいいと思いました。
- (委 員) 昔から作られている料理を、子どもたちが、おじいちゃん、おばあちゃんと料理をしながら学んでいるイラストもいいと思います。
- (事務局) ご意見にあったようなイラストがあるのか不安がありますが、探してみます。
- (委 員) 今の意見のとおり、男女共同参画は大事だと思うので、この文章を見て、当たり前男性の役割、女性の役割という印象にならないように、書きぶりをお願いしたいと思います。  
6ページに、「妊娠中の方、乳幼児は、母子健康手帳で確認しましょう」とありますが、最近では、母子健康手帳という表現を言い換える動きがあります。今後の宝塚市の方針は知りませんが、できれば男女共同参画の意識に外れそうな表現は、変更していただけたらと思います。
- (事務局) 母子健康手帳の母という文字は、お母さんだけのものという意味ではなく、妊娠出産で変化する女性の健康に着目するという意味で使われています。名称については、国で検討が進められていますが、中間報告では、名称は変更しないという結論が出ています。自治体によっては、親子手帳、子育て手帳などの名称が使われることもありますので、併記されることはあると思います。  
宝塚市では、名称は変更しないと考えております。男女共同参画という言葉からすると誤解を招くかもしれませんが、母子健康手帳は女性だけの物ではなくて親子で一緒に使っていただくものであり、お父さんも使っても良い物ですので、その点については周知していきたいと思います。
- (委 員) 今から掲載することは無理かと思いますが、計画書の4ページ 兵庫県の計画の基本方針③に、震災の経験と教訓とあります。概要版の3ページの「こんなことも食育です」のところに、ローリングストックのような考えを入れ、子どもたちも非常時の食事について勉強ができたらいなと思います。災害時に初めて食べ慣れていない非常食を食べることが、子どものストレスになると聞いた事がありますので、このような事もあると良いと思いました。

- (会 長) 災害時の食事についての教育を日頃から取り入れてはどうかというご意見をいただきましたが、どうでしょうか。  
例えば、3 ページの右上の「家庭で食について会話する」の中でそのような話題も取り上げ一緒に考えていくというのも良いと思います。
- (委 員) 長い休暇の時に、家庭でおにぎりを作らせています。おにぎりが作れると災害時にも自分でできると知り、取り組むようにしています。今の小学生では家庭科の実習が無かったり、おにぎりを握るだけのことも出来なかったりするのです、そのような取組もいいですよという文言があっても良いと思います。
- (会 長) 具体的に、今のご意見はどこに入ると良いですか。
- (委 員) 災害に関する内容を追加するのであれば、そこへ具体例として掲載するとわかりやすいと思いました。
- (委 員) 災害時も含めた食品の備蓄は時間が経つと消費期限が切れたりすることがあるので、備蓄した食品をどのように回していくか、概要版の8 ページの食品ロスのところへ、災害時のことも書いても良いなと思いました。
- (委 員) 災害時の食に関する記載は大事なことだと思いますが、第3次計画ではあまり議論されてないように思いました。震災を受けた県でもありますし、震災が薄れてきているようにも思いますので、入れるべき内容だと思います。
- (委 員) SDGs が言われ始めています。兵庫県や他市の食育計画で、目標や柱の隣に SDGs の項目のどれに当てはまるかという表現がついているのを見かけます。それを当てはめることが本当に必要で良い事かはわかりませんが、持続可能な目標という意味も意識して計画をたてているということ、マークを付ける等で、今から何か検討できれば、今風の次期の計画になるのかなと思いました。
- (事務局) 様々なご意見をありがとうございました。SDGs については、初めの段階でご意見を頂いておりました。国や県の計画には、食育の取組が SDGs のどの項目に絡んでいるのか書いていましたので、計画書3 ページの第1章 計画の概要 (2) 国・兵庫県の動向で、最初に全体像として計画の概要の中で入れ、SDGs の理念を理解しながら、全体の市の計画にも当てはまっていきますという様に作らせて頂いています。  
災害時については、もう一度計画の位置づけを確認しながら、どこに記載するのか考えていきます。